

| | | | | | |
|--|------------------------|--|------|--|------|
| 科目名 | | インテリア家具制作Ⅱ | | | |
| 担当教員 | | 中川 雅之 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 対象学科 | | インテリアデザイン科 | 対象学年 | 2 | 開講時期 |
| 必修・選択 | | 選択必修 | 単位数 | | 時間数 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | | イギリスのウインザーチェアとアメリカのシェーカーチェアをお手本にして、スツールもしくは椅子の製作を行う。一定の様式から着想するデザインの方法論を学ぶことを主眼とする。 | | | |
| 学習目標 (到達目標) | | 自分でデザインし、自分で製作し、自分で使用してみる。その体験を通し、物を使用する利便性、実際の使用勝手さ、デザインの見た目、美しさ、製作の苦勞、難しさ、楽しさを学ぶ。それと同時に 与えられた時間内に物をまとめるあげる能力を養う。 | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | | 配布プリント等 | | | |
| NO. | 授業項目、内容 | | | 学習方法・準備学習・備考 | |
| 1 | ウインザー／シェーカーの基本構造・「用の美」 | | | 構造とデザインの関係を理解し、「用の美」について学ぶ。 | |
| 2 | 北欧の椅子と「リ・デザイン」の有用性 | | | 現代の北欧の椅子などが、ウインザーやシェーカーの椅子をお手本にし成立していることを理解し、「リ・デザイン」という方法論を学ぶ。 | |
| 3 | 基本設計・ボリュームの検討 | | | リ・デザインの対象となる各自のお気に入りの椅子を、本やインターネット等から探し出し、それをもとに各自の製作する椅子の基本設計を行う。 | |
| 4 | 詳細図・原寸図 | | | 基本設計等で難解な場合は、詳細図および原寸図を作成する。 | |
| 5 | 製作 | | | 段取りを追いながら、安全優先で製作を行う。自身の設計と製作スキルとの乖離を自認できるとよい。 | |
| 6 | シートウィービング | | | 座面がテープの場合は、シートの編みを行う。 | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 評価方法・成績評価基準 | | | | 履修上の注意 | |
| 授業理解 30 % | 制作への意欲 30 % | 作品力 40 % | | % | |
| 成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 | | | | デザインの読み解き方を知ると、身の回りの物に対する見方が変わります。楽しみながらインテリアデザインについて学ぶ。 | |
| 実務経験教員の経歴 | | 家具デザインと製作における歴 14年 | | | |